

【シリーズ】
札幌の魅力を
育む
匠たち
たくみ

魅力的な都市として輝きを放つ札幌。
そこには、市民や観光で訪れる方のために
力を尽くす人々の姿があります。
このページでは、札幌の魅力を
陰ながら支える“匠”の思いに迫ります。



第7回

いつ来ても最高のリンクで楽しめる
カーリング場をつくりたい

山崎さんがカーリング場のリンクを整備するようになったのは、どうぎんカーリングスタジアムが開館した平成24年。毎日約2時間かけて行う整水作業は、カーリングのストーンを投げる周辺などを丁寧に削るところから始まる。その後、パワースクレーパーでリンク全体の凸凹をきれいに

カーリング場リンクの整備士

山崎英威さん
やまざき ひでたけ

昭和47年生まれ。スケート場の整備を14年間経験。その後、市カーリング場の整備に携わり、3年前から館長を務める。

削り、ペブル管という装置で純水をまいてペブル（無数の氷の粒）を作る。最後にニッパーでリンクの表面を整えて完了だ。スケート場で14年間の整備経験を持つ山崎さんだが、氷を削る作業などカーリング場の整備ならではの技の習得には苦労したという。「特に、

ペブル作りは、じょうろのような器具を左右に振って純水をまくのですが、均一にするのが難しい。リズムよくまくるようにアスファルトの上で何度も練習したんですよ。集中力、体力のどちらも使う作業は、今でも緊張の連続だ。そんな山崎さんがやりがいを感じるのには、利用者から「楽しかった」と声を掛けてもらうとき。「失敗しても次頑張

ればいいとよく言いますが、整水作業はそれではだめ。今日しか来られないお客さんもたくさんいるので、いつ来ても最高のリンクで楽しんでもらえるよう心掛けて整備しています」と語る。「整水作業の方法は日々進化しています。いろいろな技術を取り入れて、これからも良いリンクをつくりたいですね」。山崎さんの挑戦は続く。

整水作業の
ミニ知識

整備に使う用具の一部を紹介！

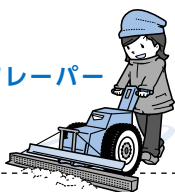
1 ハンドカッター

ストーンを投げる場所の周辺などを削る



2 パワースクレーパー

リンク全体を均等に削る



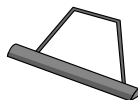
3 ペブル管

リンクに純水をまき、氷の粒を作る



4 ニッパー

リンク上の氷の粒を整えるための仕上げに使う



冬季アジア札幌大会の会場にもなる/
どうぎんカーリングスタジアム
(札幌市カーリング場)

所在地 豊平区月寒東1の9

開館時間 10時～21時

費用 1シート1時間1,500円。学生

750円。道具一式の貸し出し100円

※要予約。詳しくはお問い合わせを

交通機関 地下鉄東豊線「月寒中央」駅

3番出口から徒歩5分

詳細 ☎853-4572



アジア大会の競技日程は2ページを、スポーツ教室のお知らせは17ページをご覧ください